

九州支部

支部長 小杉寿文

この度九州支部が担当いたしました第 45 回年次大会を下記の通り開催いたしました。

< 第 45 回日本死の臨床研究会年次大会 >

テーマ：「暮らしの中にある看取りへ」

開催形式：完全 WEB 方式

（Zoom ウェビナー & ミーティングを利用）

大会長：小杉寿文（佐賀県医療センター好生館）

梅野理加（介護付有料老人ホームかめやま）

実行委員長：吉田晋（栄光会栄光病院）

大会会期：

【オンデマンド配信期間】

2021 年 11 月 22 日（月）～12 月 26 日（日）

【WEB ライブ配信】

2021 年 12 月 4 日（土）・12 月 5 日（日）

研究会として初めての WEB 開催となった今年次大会は、2021 年 11 月末時点で 1865 名（会員 1109 名、非会員 740 名、学生 10 名、市民パス 6 名）の大会参加登録をいただき、12 月 4 日・5 日に WEB ライブ配信プログラムを 4 会場同時で実施いたしました。

現地会場である福岡市には、ライブ配信運営のために九州のコア実行委員、本会から数名の幹事・世話人の皆様方が集結したほかは、一部のセッション登壇者、事例検討発表者・共同演者の方のみがセッション開始の時間に合わせて三々五々お越しになるという状況でした。しかし、ライブ配信では各セッションとも事前の WEB 打ち合わせなどで想定していた以上にチャットや Q&A の機能を使って多数の質問や意見が寄せられ、オンラインでも全国各地より参加頂いた方々と熱い想いを共有できた嬉しいひとときとなりました。

この貴重な経験は、今後『with コロナ』となっていくであろう社会情勢の中、九州支部ならではの活動をさらに一歩進めていく上で大きな糧となっていくことと感じております。

コロナ禍に振り回されてプログラム企画の内容も二転三転し、会の開催方法や運営もイチから見直して新たな手法を模索するという状況に陥りつつも、強い気持ちを持ってこのたびの年次大会開催に携わってくださったすべての皆様方に、この紙面をお借りして心より御礼申し上げます。そして、これからも引き続き、九州支部をよろしく願いいたします。